



れんげ畑

～ 結 の 学 校 ～

8・9月号

じりつする夏休み 自立とは？

夏休みも昨日で終了し、本日より暑い2学期が始まります。残暑の暑さも厳しいものと予想されますが、その暑さに負けない熱い教育活動・学校行事満載の結の学校の2学期となりそうです。



8月22日(火)鴻巣市の教職員や希望する市民の皆さん向けに研修会と教育講演会が行われました。

講演会では、講師の安藤亘様(社会福祉士・精神保健士)から、「不登校と自立との関係～“自立”ってどうゆうこと?～」についてお話をいただきました。大変すばらしいお話であり、夏休み前に子どもたちにお話したことに関するお話でしたのでご紹介します。

1 子どもを取り巻く問題の原因を探ると共通する背景がある

子どもたちを取り巻く問題

- いじめ ○ 自殺
- 不登校/引きこもり
- 児童虐待 等

共 通

孤立

問題の下には、原因があり、そのまた下には「孤立」というキーワードが隠れているとのこと。日本人は、戦前まで農耕を中心とした大家族で生活してきましたが、戦後、農地改革や都市化により核家族化が進み、心理的な「孤立感」を知らず知らずのうちに抱えてしまっているそうです。

2 子供の主観的幸福感の調査(2007ユニセフ)

- ① (自分が)ぎこちなさや場違いと感じる子どもの割合が、18.1%(OECD加盟国平均値9.8%)
- ②「孤独」を感じる子どもの割合29.8%(平均値7.4%)

と、自信のなさや孤独感を感じる子どもが他国に比べて多くなっています。

3 課題解決の方向性

自立モデルの実践

【現状】 今の自分を100点ととらえる

【目標】 「あるべき」ではなく、自分が「何を目指し」「どうなりたいか」を明確にする

【課題】 目指す姿と現状とのギャップ

【具体的対策・戦略】

ギャップを埋めるためにどうするか

安藤先生から、「自立」とは「孤立」の反意語であり、「真の自立」とは、周囲の人に頼れること。「お互い様」の精神が重要だという大切なことを教わりました。

尚、この研修会と講演につきましては、後日鴻巣市教育委員会が公開を予定しているとのことですので、ぜひご覧ください。

4 終わりに

「教育の道は、家庭の教えて芽を出し、学校の教えて花が咲き、世間の教えて実がなる」ということわざがあります。家庭・地域・学校が強固に手を結び、結の子どもたちがこれからも健やかに「お互い様・おかげ様の自立」ができるよう、2学期もご協力をお願いします。子どもたちにも、始業式でお話をします。